

終端形電力計は、送信機の整合、調整、試験、などに使用しますが、電波法、第57条で、法的に定められる、疑似負荷（疑似空中線）としても使用でき、かならず必要になるものです。

又、本機は、微弱電界用の送信機から、ハンデートランシーバーの、ローパワー出力の調整用に、特に使いやすく出来ています。

モニター出力も、-23dbで、出ていますので、周波数測定、波形観測用として、とても便利に御使用いただけます。

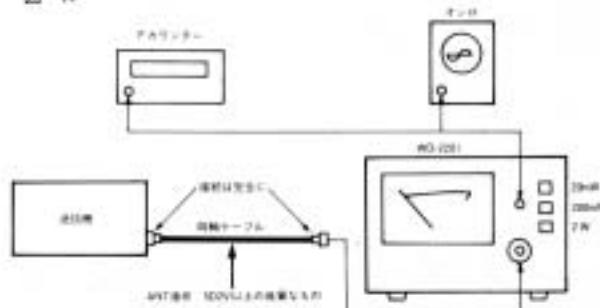
#### 性能・特徴

1. 周波数がワイドである（1.9MHz-500MHz）
2. 周波数補正の必要が無い
3. 小電力-2W迄と、測定範囲が広い
4. 残留SWRが少ない
5. プッシュボタン式で使いやすい
6. BNC検出端子つき
7. 安価で、高性能である
8. すべて、前面操作で、使いやすい

#### 測定方法

図Aの様に送信機空中線出力接栓と電力計の接栓を接続し送信電力に応じた電力に電力計のスイッチをセットし送信機を動作させ、電力計の目盛を読み取ります。

図 A



#### 注意事項

1. 1W以上の電力を測定する時は連続使用を一応5分程度に止めて下さい。
2. VHF-UHFに於いては、ケーブルと接栓との接合が悪いと大きな反射が生じ指示に大きな誤差を生じることが有り注意を要します。
3. 送信機と電力計との接続接栓は完全にしっかり接合されるように接続して下さい。

#### 規 格

- 周波数範囲： 1.8-500MHz  
 測定電力： 20mW/200mW/2W切替  
 インピーダンス： 50Ω  
 残留定在波比： 1.15以下  
 指示誤差： FS±10%以内  
 接栓方式： N型 モニター出力BNC  
 寸 法： 140×150×85  
 重 量： 950g

#### 保 証 書

型 名 WD-2201  
 販売年月日 年 月 日  
 お 名 前  
 ご 住 所

〒 ☎

販売店名印